



小原田小学校だより

【教育目標】心身ともに健全で正しい判断力を持ち、自主性・創造性に満ち、心豊かなたくましい児童の育成

〇すすんで学習する子（知） 〇思いやりのある子（徳） 〇たくましい子（体）

第51号 令和3年1月25日発行

全国学校給食週間です



今週24日（日）から30日（土）まで全国学校給食週間となっています。給食だよりや献立表に説明が載っていますが、学校給食の始まりは明治22年（1889年）山形県鶴岡市で始まったとされています。

その当時は、「おにぎり、塩鮭、漬物」という献立でした。

それから、太平洋戦争をはさみ、戦後昭和22年に学校給食が再開され、現在に至っています。

戦後、アメリカのLARAという民間団体からの支援により再開された学校給食は、食事もままならない状況の日本の子どもたちを救うための給食でしたが、日本が豊かになるにつれて学校給食の意義も変わってきています。

平成17年食育基本法が制定され、食は知育・徳育・体育の基礎となり生きる力につながるもので、学校給食も食育推進の役割を果たしています。

学校給食には、次のような7つの目標があります。（「健康なからだづくり」「望ましい食生活の手本に」「協力して楽しく食べる」「自然の恵みに感謝する」「働く人たちに感謝して食べる」「地域の食を知る」「食を通して社会のしくみを知る」）

学校給食週間には、郷土料理のいか人参やキャベツもち、地域の産物の曲がり葱や苺などが提供される予定です。日本の食文化や郷土料理、地域の産物等に関心をもつことを通して、「食生活」を見直すきっかけになってほしいと思います。そして、食の大切さや作ってくださる方への感謝の気持ちなども給食を通して学んでほしいと思います。



なわとび記録会ウィーク

来週は、「なわとび記録会ウィーク」が予定されています。今年度は、感染症防止の観点から密を避けるため2学級合同での実施となります。

子どもたちは、体育の時間や休み時間などで、自分の目標に向かって一生懸命に練習に取り組んでいます。「なわとびカード」で〇級をめざしたり、友だちと励まし合ったりしながら、持久とび（1年生＝1分…6年生＝6分）や二重とび・あやとびなどの種目とびなどの練習に励んでいます。

各学年の廊下には、「持久とび」などの記録の合格者が掲示され、日に日に合格者が増えています。なわとびカードの合格した種目も増えています。

今年度は感染症対策のために保護者の皆様に参観していただくことはできませんが、ご家庭で子どもたちへの励ましのお声かけをいただければと思います。

3学期が始まって2週間



子どもたちは、毎日元気に学校生活を送っています。国語や算数などの学習で粘り強く問題を解いたり、真剣に友達と話し合ったりして理解を深めています。また、プログラミング学習では、ICT支援の先生に助言を受けながら、タブレットで問題を解いたり、プログラミングしたりと、意欲的にそして楽しく学んでいます。英語学習でも、アンバー先生とともに簡単な英会話を学んだり、単語を覚えたりと頑張っています。

3学期は、1年間で最も短い学期でもありまとめの学期でもあります。4月に進級や進学を控え、より心身ともに成長した状態で今年度が締め

くくれるように指導していきたいと思っています。

保護者の皆様には、児童の体調管理や家庭学習の確認等、ご協力をよろしくお願いいたします。